



H26 人口減少問題プロジェクトチーム の取り組み

1 平成 25 年度までの取り組み概要

(1) 設立の経緯

南魚沼市で人口減少傾向が慢性化した現在、減少に歯止めをかける施策の実施のほか、人口減少時代を認識したうえで施策の見直し・実現を行っていく必要があるとの市長の指示により、平成 22 年度に庁内に「南魚沼市人口減少問題プロジェクトチーム」を立ち上げました。

- ・主目的 人口減に対する危機意識の共有と市の将来人口関係資料の庁内公表、対策の共有、新たな人口対策施策の事業化
- ・副目的 職員意識改革と職員研修(課題解決訓練)

(2) プロジェクトの主な取り組み

(22 年度)

- ・人口増加施策(人口減少幅縮小対策)として取り組み可能な(取り組んでいる)施策の洗い出し(企業誘致、子育て環境の整備など)
- ・人口減少に対応するために今後見直しが必要となる施策の洗い出し(学校等の統合・施設運営コストの軽減など)

(23 年度)

- ・引き続き施策の洗い出しとブラッシュアップ
- ・施策実施に必要な事項の具体的検討・試算(財政、人員など)
- ・プロジェクトチームによる部門間調整、修正
- ・市方針(施策)の承認(市長決裁)
- ・人口減少により廃止・縮小の可能性のある事業の洗い出し
- ・施策案の公表、庁内での意識共有

(24 年度)

- ・人口推計の推計年次の延長
- ・人口減少により廃止・縮小の可能性のある事業の検討
- ・人口減少に影響を受ける事業の 10 年後-20 年後の事業費試算
- ・世帯数の将来推計
- ・過去 30 年の集落別人口の推移や周辺市町村の過去 20 年の人口推移等のデータ集計
- ・結婚に関するアンケート調査

(25 年度)

- ・プロジェクトチーム再編成
希望者のみで構成(部署毎の枠無し)、概ね 40 歳くらいまで
- ・「カイギ」形式から「コミュニケーション」「ワーク」へ
- ・施策提案を主要事業検討会議で発表し、事業として採択する形へ
- ・主要事業検討会議で、チーム H&M の提案:「若者定住促進事業
—呼び戻せ! 隠れ南魚沼市民—」が採択される
→H26.6 月議会で予算補正、9 月公募プロポーザル、契約

2 H26 人口減少問題プロジェクトチーム の取り組み

(1) チームの構成

- 希望者のみで構成(部署毎の枠無し)
概ね 40 歳くらいまで 18 人
(うち事務局兼務 2 人)



(2) 26 年度活動実績

H26.4.24 採択事業について、商工観光課と事業内容すり合わせ(提案グループ主体)

H26.5. 2 " (プロジェクトチーム全体)

H26.5~6 月 H26 年度プロジェクトチームメンバー補充募集、委嘱

[全体会議等]

回次	内容
第 1 回 PT会議 H26.7.3	H25 提案の施策について再検討 <ul style="list-style-type: none"> ■ 3 つのグループに分かれ昨年度採択に至らなかった3案について再検討 ■ ワールドカフェ方式で3案について KPT 法による評価を行った ■ 個人提案の作成(宿題)
第 2 回 PT会議 H26.8.5	個人提案発表・班編成 <ul style="list-style-type: none"> ■ 個人提案の施策プレゼン (P3 図 1) ■ 提案内容に基づき、4 つのグループに編成
第 3 回 PT会議 H26.11.5	班ごとの検討内容の中間報告及びプレゼンのリハーサル <ul style="list-style-type: none"> ■ プレゼンテーション ■ 質疑応答・改善のためのディスカッション
施策提案 プレゼン H26.12.1	主要事業検討会議で施策提案発表 (P4~5 表 2) <ul style="list-style-type: none"> ■ 部長・次長クラスで構成される「主要事業検討会議」のなかで、施策提案プレゼンテーションを行った ■ 4 チームから5つの提案があり、審査は5つの提案ごとに行った ■ 主要事業検討会議から、2分類7項目による採点と、採択すべきかどうかの見解および総評をいただいた
第 4 回 PT会議 H27.3.26	提案のふりかえり、事後評価 <ul style="list-style-type: none"> ■ 自チームの提案について、他チームからも意見・課題をもらい、事後評価を行い、改善策を検討した

H27.2.10 採択事業(27 年度~実施)について、社会教育課と事業内容すり合わせ(提案グループ主体)

・グループ毎に検討作業 (別掲:P3 表 1)

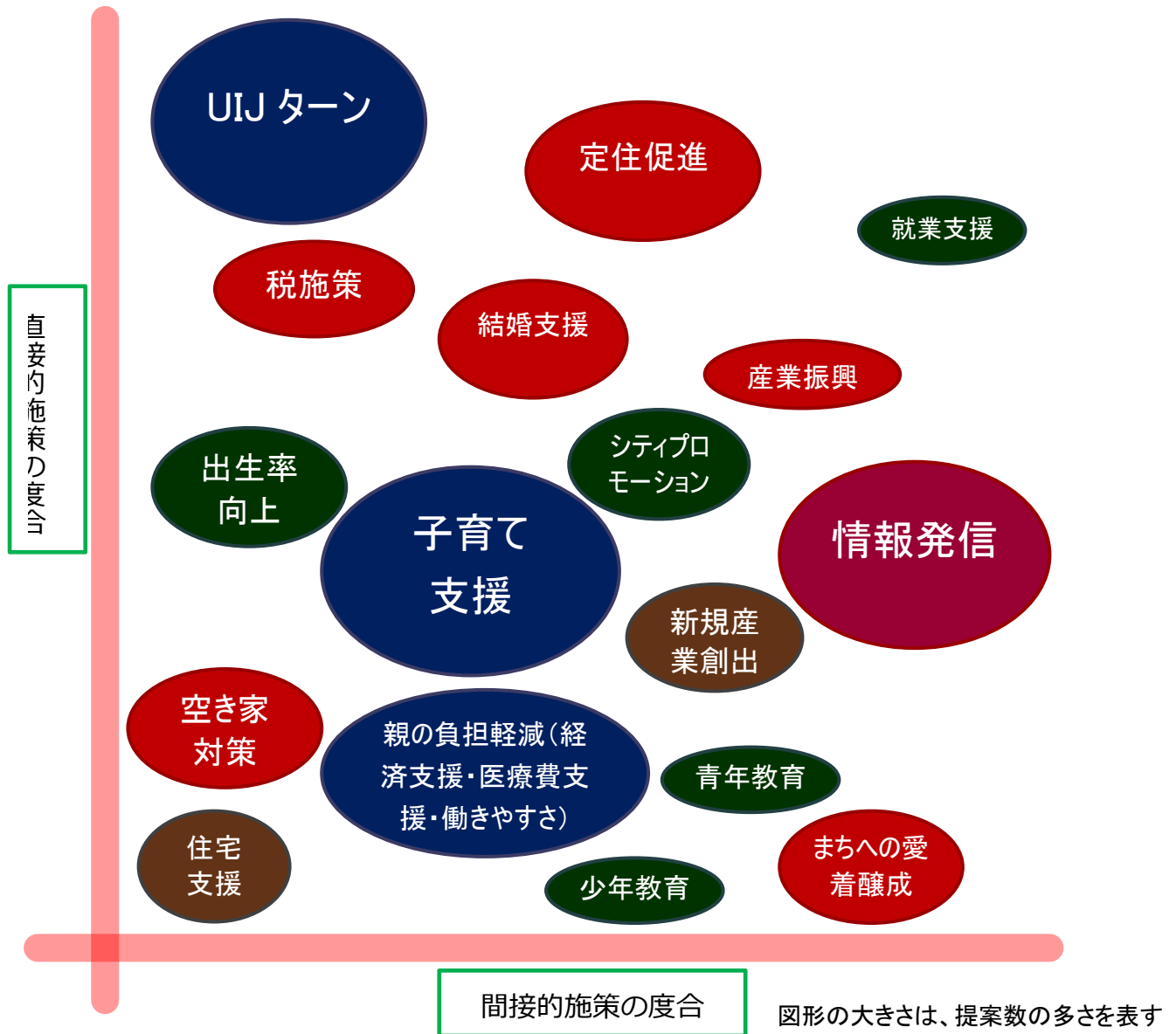
若者まちづくり会議「わかまちカフェ」に参加

平成 26 年 11 月 15 日および平成 27 年 1 月 18 日に開催した、若者まちづくり会議「わかまちカフェ」にプロジェクトのメンバーが参加し、一般参加の若い人達と一緒に将来の南魚沼市のまちづくりについてワークショップを行いました。

11 月 15 日 : プロジェクトのメンバー 11 人が参加

1 月 18 日 : プロジェクトのメンバー 9 人が参加

◆図 1: 個人提案の属性(第 2 回PT会議関連)



◆表 1: グループ会議開催実績

回次	チームあなたのそばにであいたい		チーム36(サンロク)		WホワイトJUN		チームこめっ子	
	開催日	内容	開催日	内容	開催日	内容	開催日	内容
1	9月2日	テーマの決定	8月21日	事業内容アイデア出し(体験の内容、事業概要)	8月13日	現状の課題の把握、個人提案の再考	8月22日	戦略シートの作成
2	9月10日	テーマに向かって何の施策が良いか議論	9月4日	移住者数の推計 アンケート調査の検討	8月21日	作業工程打合せ	9月2日	江別市事例研究、トキッ子クラブ事業、アンケート内容の検討
3	9月18日	個々に集めた情報を基に提案シートを再度作成	9月26日	留学事業の内容検討 若井主幹と協議、グループの提案事業とのすり合わせ	8月28日	SWOT分析	9月30日	アンケート結果の検討と戦略シート修正
4	10月6日	プレゼンの流れの決定	10月2日	視察(荒金地区)	9月8日	戦略シートの作成	10月21日	プレゼン前調整 ほのぼの広場拡充の検討
5	10月30日	中間報告の準備	10月20日	プレゼンの段取り	10月1日	戦略シートのまとめ、事業予算の検討	11月4日	プレゼン前の練習 予想質問を出し合う
6	11月6日	プレゼン資料作成	11月4日	事業提案シート用にKJ法にて見える化	11月19日	プレゼン資料作成	11月12日	プレゼン資料作成
7	11月13日	プレゼン資料作成	11月10日	プレゼン資料作成		プレゼンまではメールで調整	11月26日	プレゼン資料作成
8	11月20日	プレゼン資料作成	11月19日	プレゼン資料作成			11月27日	プレゼン資料作成
9	11月25日	プレゼン資料作成	11月26日	プレゼン資料作成			1月9日	提案内容のふりかえり
10	11月28日	プレゼン練習・資料作成	11月30日	プレゼン練習			1月13日	提案内容のふりかえり
11	11月29日	プレゼン練習						
12	1月16日	提案内容の精査、反省会						

(3) 各グループの提案内容と採択方針

◆表 2: 各グループの提案概要と属性

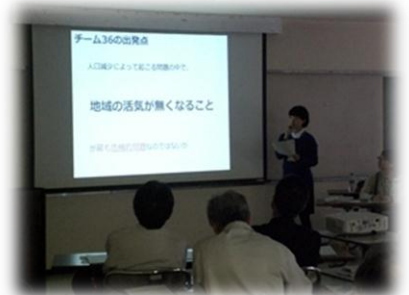
班名	提案のタイトル	提案の概要	種別と効果対象	支援の方法	採択方針
チームあなたのそばにであいたい	集え！若者たち！ ～若者が出ていきたくなくなり、いなくなりになる事業～	市内で埋もれている各種サークル(運動系に限らず)を情報発信し、活性化させることによって若者の出会いの場を創出する事業 「活動したい若者」と「メンバーのほしいサークル」のマッチングのために、時代に合った形でサークル紹介、募集活動を行う。また、イベントの開催や活動場所の提供でサークル活動やサークル同士の交流の活発化を図る。 それにより、自然な出会いの場を創出、拡大し、婚姻数の増加、早婚化、完結出生児数の増加を狙う。 また、地域の魅力アップにもつながると考えられ、転出減、転入増も狙う。	結婚支援 青年教育 情報発信 自然動態-増加促進 および 社会動態-減少抑制	間接的施策	採択
チーム36(サンロク)	地域活力復活事業 住民×よそ者=□	市と地域づくり協議会が連携して、大学生に南魚沼市での生活体験等を通してU・Iターンにつながる施策 市が地域づくり協議会と大学生をマッチングし、大学生を地域と呼ぶ。 大学生は地域に滞在しながら「よそ者」「若者」の視点を活かし、地域づくり協議会の一員として地域の活性化に取り組む。 新しい視点・発想が入ることによる地域行事などの活性化と、外部の視点が入ることによる自分たちの地域の魅力の認識と地域への自信の醸成がねらい。 地域が活気づき、地域への自信と愛着が生まれれば、Uターンする若者が増え、地域の魅力を知ること、今後南魚沼市を対外的に発信していく土台をつくることにもなる。	定住促進 UIターン 地域活性 社会動態-増加促進	間接的施策	
WホワイトJUN	『家族のつながりやすさ No.1 へ』 ～南魚沼でひとつ屋根の下計画～	3世代同居世帯や近居世帯への住宅支援、税軽減などにより、家族の絆を深める共に、子の市外流出や高齢者独居世帯の増加、集落の高齢化を防ごうとする施策 【Aグループ 3世代同居世帯】 ⇒ 3世代住宅の新築又は増改築を行った場合に補助金を交付する。新築のみ固定資産税の軽減期間を延長する。 【Bグループ 子が同一行政区内に居住する世帯】 ⇒ グループ A に比べて1/5 程度の補助金を交付する。新築のみ固定資産税の軽減期間を延長する。 【Cグループ 子が市内に居住/子がいない世帯】	住宅支援 税施策 空き家対策 自然動態-減少抑制 および 社会動態-増加促進	直接的施策	

		⇒ 特に対策は取らない。 【Dグループ 子が市外に居住する世帯】 ⇒ 新たな「法定外目的税」を制定し、この世帯 に対しての増税を行う。 ※ 法定外目的税について、市外の子が一定額 以上のふるさと納税を行った場合は、税免除			
チームこめっ子	ほのぼの広場の 拡充	ほのぼの広場を拡充し、全天候型遊びの広場を 開設 現在、ふれ愛支援センター内で実施している子 育て支援センター（ほのぼの広場）事業をイオン 六日町店内のテナント（全天候型）に移設し、休 日の事業実施、対象児童（概ね小学3年生まで） の拡充を図る。	子育て支援 親の負担軽減 自然動態-増加 促進 社会動態-増加 促進	直接的施策	
	こめっこカード事 業	子育て世代の家庭が店舗などからお得なサービ スが受けられる制度 新潟県内に住む0歳から12歳までの子ども いる家庭なら誰でも無料で参加できるトキっくら ぶカードがある。この事業を参考に市内で協賛店 を募り、市内の商店等で独自のサービスが受けら れる事業を創設する。子育て世帯の経済負担軽 減、生活支援はもちろんのこと、地域みんなで子 育てするまち「南魚沼」を目指す。	子育て支援 親の負担軽減 自然動態-増加 促進	間接的施策	

《検討作業の様子》



《施策提案プレゼンの様子》



3 プロジェクトからの提案で事業化されたものの取り組み状況

[H25 年度提案、採択された事業]

若者定住促進事業

—呼び戻せ！隠れ南魚沼市民—

[提案概要]

隠れ南魚沼市民（市外へ転出した若者）を呼び戻すために
Uターン者向け WEB サイトを設置・運営する

-特徴-

- ①市内のみならず、近隣地域の企業情報や求人情報が閲覧できる
- ②現時点で採用のある企業が一覧できる
- ③実際に働いている人の声がわかる
- ④Uターンに役立つ生活情報関連のリンク集がある
- ⑤隠れ南魚沼市民にアピールしやすい

[取組み概要]

- ・商工観光課商工振興班を主管として実施
- ・他の班が提案した、“ライフスタイル誌の発刊”と融合した事業とした
- ・企業の採用情報については、ハローワークへのリンクとした
- ・H26 年 12 月：定住促進ウェブサイトを開設、ライフスタイル誌「LIFE in」（秋ヴァージョン）発刊
- ・H27 年 3 月：「LIFE in」（冬ヴァージョン）発刊



4 プロジェクトの今後の活動と位置づけ

H27 年度の活動予定およびプロジェクトの位置づけ

メンバーの補充をしながら、26 年度の活動方法を踏襲し、政策提案を目差しワーキンググループでの作業行うと共に、既出提案事業の再構築、採択事業の運営協力等を行います。

また、まち・ひと・しごと創生事業における市の総合戦略の計画策定への寄与や、若者まちづくり会議（わかまちカフェ）へ継続的に参加しキーマンとして活躍することもねらいとしていきたいと思えます。

